

子供たちの安心・安全を確保した施設整備への取り組み

～大笹生学園改築整備事業の概要について～



建築総室 営繕課
副主任建築技師 平子 嘉子

施工場所：福島市大笹生字俎板山 地内（大笹生学園）

1. はじめに・背景

大笹生学園は、児童福祉法に基づく知的障がい児施設であり、入所児童を保護するとともに独立自活に必要な知識・技能取得の支援を目的とした施設である。

本施設は昭和38年に建設され必要な補修工事を行いながら使用してきたが、老朽化が著しく入所児童への支援に支障が生じてきたことから、改築工事を実施した。

2. 経緯

- 平成22年11月～平成23年1月 公募型プロポーザル実施
- 平成23年3月～平成24年7月 基本・実施設計
- 平成24年10月～平成25年5月 粗造成、第一期解体工事
- 平成25年3月～平成26年10月 改築工事
- 平成25年3月～平成27年1月 第一期造成工事

3. 課題

- 子供達の障がいの特性や発達状況に応じたきめ細やかな支援体制を確立することができる施設整備が必要。
- 日常、非常時（火災・地震等）において、子供達、職員の安全・安心が確保された施設整備が必要。
- 24時間使用している施設であるため、子供達、職員への負担が少ない工事計画とすることが必要。

■改築建物概要

本館棟（管理+居住棟） RC造一部W造2階、多目的ホール棟 RC造一部W造2階
外2棟 計4棟 延べ床面積3,993㎡

■改築工事費 1,687,000千円（建築・電気・機械の分離発注）



改築前

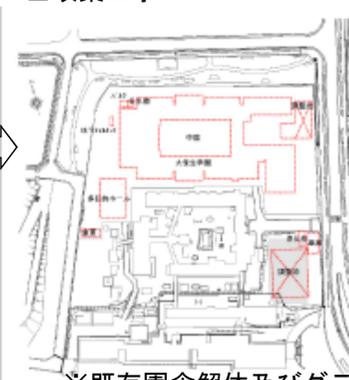


改築後鳥瞰図

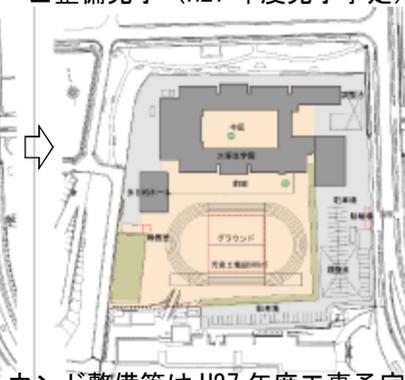
■整備前



■改築工事



■整備完了（H27年度完了予定）



※既存園舎解体及びグラウンド整備等はH27年度工事予定

4. 課題への対応

■課題Ⅰについて

【基本・実施設計時点】

- ・ 子供達の生活実態や管理運営上の課題等を確認するため、現地（生活）調査を実施した。
 - ・ 施設職員及び関係団体へのヒアリング調査を実施し、意見収集を行った。
- 上記より、移動動線を考慮し、機能を集約したプランニングを行った。



ヒアリング調査の様子

■課題Ⅱについて

【基本・実施設計時点】

- ・ 耐震性や火災時の避難動線を確保するため、木造小屋組を支える壁等の構造体をRC造とした。
- ・ 避難所施設としての機能を確保するため、多目的ホールを別棟で計画し、2階に備蓄倉庫を確保した。

【改築工事時点】

- ・ 周囲からの影響に敏感な子供達に対して、音・臭い等の対策を講じた。

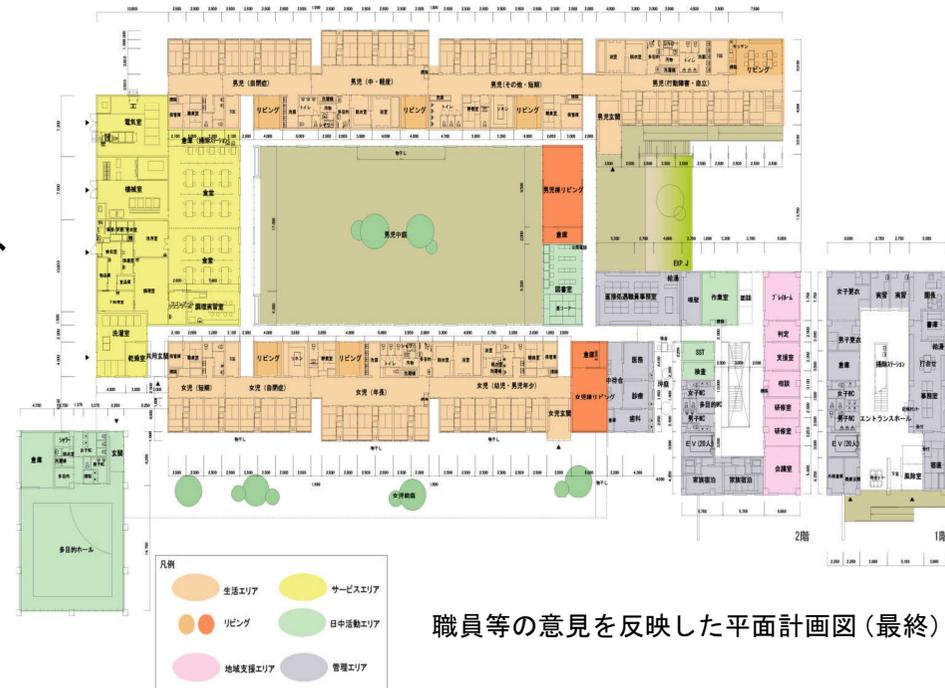
■課題Ⅲについて

【基本・実施設計時点】

- ・ 狭隘な敷地であり、施設の機能上仮設園舎を確保することが困難であるため、既設園舎を使用しながらの工事計画とした。

【改築時点】

- ・ 狭隘及び高低差のある敷地での作業性を確保するため、工区分けや工事車両の進入、配置方法等に配慮した。



職員等の意見を反映した平面計画図（最終）

5. おわりに

平成26年の12月に無事に新園舎への引越が完了し、本格的に施設の運用が開始されました。今回整備された新たな園舎での生活により、子供達が自活のための力を育み、いきいきとした人生を送ることへ繋がることを願います。

また、施設整備完了後も施設側からの声に耳を傾け、よりよい施設運営が行えるように協力するとともに、そこで得た考え等を今後の県有施設整備等へ反映させられるようにしたいと思います。



新園舎完成後写真

